

<p>草の根活動 交流NEWS 5300人最高現勢へ</p>	<p>第751号 2026年3月6日 会員数158万3382人 読者数 5040人</p>	<p>消費税をなくす全国の会 〒114-0023 東京都北区滝野川3-3-1-201 電話03-3940-0401 FAX03-3949-9885 Eメール snzk90@horae.dti.ne.jp</p>
--	---	---

消費税5%減税、インボイス廃止へ 会報読者を増やそう！



確定申告の真っ最中。課税事業者の方は消費税の納税額にため息をつき、インボイスを発行するために課税事業者になった方からも悲鳴が聞こえてきます。高市政権が発足させた「国民会議」はいつの間にか「社会保障国民会議」となり「給付付き税額控除」の議論が中心に。この会議に参加できるのは「消費税が社会保障の安定的財源」「給付付き税額控除に賛成」する政党のみ。消費税廃止・減税を掲げている共産、参政、れいわは参加の要請もありません。国会に減税法案を提出し、議論すべきです。「消費税は廃止、ただちに5%に減税、インボイスは廃止」。この願いを実現するためにも会報「ノー消費税」の読者を増やしましょう！

元市議員が弁護士に拡大

福岡県の会

福岡の会は2月に2人の読者を拡大。そのうちの1人は、福岡市の元市議員が増やしてくれたもの。昨年の総会で県の常任世話人になって会議の中で、「読者5300人を実現しよう」との全国の訴えを読み、「自分も増やしたい」と弟や知人3~4人を対象者に挙げていました。地域で生活相談も行っており、同席した弁護士の方に「憲法問題も大事だけど暮らしの問題も喫緊の課題」と話したところ、快く読者に。あと2人は増やしてくれそう、と期待しています。

福岡の会では会議前に学習を行い、商工新聞掲載の「消費税は預かり金ではない」の記事や、「消費税非課税とゼロ税率の違い」など、学んだことを力にしています。元市議員の方はSNSにも強いので、役員間で作っているライングループに会議の様子や勉強した内容などを紹介してくれ、今後X(旧ツイッター)の強化も期待しています。3月末には300人目標を必ず達成をと張り切っています。

確定申告相談や、昔の同僚に拡大

埼玉の会

役員の永塚友敬さんが頑張っています。1月の拡大は、確定申告の相談で訪問したお宅で、打ち合わせの後、消費税のことが話題になり、会報を購読してくれることに。2月は、たまたま電車を乗り換えるためホームにいたとき、昔の同僚とばったり。短い時間でしたが、いまこんな活動をしているのだ

けどと、「なくす会」の紹介をして会報購読をお願いしたところ快諾。永塚さんは「特に工夫はありません。声をかければ応えてくれますね」と話しています。

また会報を購読するよ

群馬から電話が

「会報の購読を中止していたけれど、また購読するよ」。全国の会の事務所にTさんから嬉しい電話がかかってきました。少し前にTさんは飲食料品ゼロ%について「何が問題なのか」と問い合わせをしてきました。電話を受けた事務局は会報の記事をコピーして郵送。「丁寧に対応してくれてありがとう」とTさん。「消費税はやっぱり廃止しかない。思うように事が進まず、腹立たしいけど、自分も頑張るから一緒に頑張ろう」と激励してくれました。

「面白そうだね」と読者に

青森の会

「全国の会」から送られてきた読者名簿を見て、読者がいない地域に読者を増やそうと計画している青森の会。青森市外で「ちょっと遠いな」と思って対象にしていなかった税理士さんに購読を訴えると読者になってくれ、学習会の講師も引き受けてくれました。青森市内に住む人が会報読者宅で会報を読んでみると「面白そうだね」と青森の会の事務所に電話で購読を申し込んできました。「内容を読んで購読を申し込んできた人は長く購読してくれる」と猪股事務局長の声が弾んでいました。

